

本物の医療秘書(医療クラーク)が学べる 専門学校静岡医療秘書学院

静岡県内唯一の日本医師会認定医療秘書(訃事務)養成機関

医療事務科・医療秘書科を設置している教育機関(大学・短大・専門学校)は全国に200校以上あるが、日本医師会認定の医療秘書(事務)養成機関は全国で14校のみであり、本学院はその内の1校として、高い評価を受けている。

元々は静岡県医師会が通信制教育から始めた医療教育機関

- 1968年 静岡県医師会副看護学院として開校(看護師のサポート)
- 1976年 静岡県医師会MS学院と改名(医師のサポート:医療秘書)
- ※上記までは、医療機関従事者のみ入学可で通信制
- 1984年 静岡県医師会医療秘書学院と改名(一般公募始まる。通信制)
- ※医療界の高度化・複雑化・専門化に伴い通信制では限界有りと判断
- 1991年 学校法人静岡女子商業学園(現:学校法人長嶋学園)が受託
- 1993年 専門学校静岡医療秘書学院(全日2年制、男女共学)開校

学院長は静岡県医師会長、学院運営委員は医師会理事

近年の学院長紹介(3期前まで)

現在	紀平幸一(伊豆市)	2018年6月~現在に至る
前回	篠原 彰(焼津市)	2014年6月~2018年6月
前々回	鈴木勝彦(浜松市)	2008年6月~2014年6月

現在の学院運営委員メンバー(学院長以外の静岡県医師会理事のみ列举)

齋藤昌一(齋藤医院:御殿場市)	小野宏志(医療法人社団心理士:浜松市)
秋山欣丈(秋山医院長:富士市)	荻野和功(聖隷三方原病院長)
宮下 正(静岡市立静岡病院理事長:静岡市)	竹内浩視(浜松医科大学:浜松市)

国家試験ではないが「日本医師会」認定資格は全国で通用

日本医師会医療秘書認定試験(医師事務作業補助者認定のための基礎研修が免除)
全医秘協医療保険請求事務実技試験

※上記は、日本医師会認定校の14校のみ受験可能(本校は95%以上が合格)

就職希望者決定率100%(静岡県医師会より県内の会員医師に学生紹介)

県内全域の医療機関から求人が来る(例:2022年3月卒業生31名 求人数100以上 3倍)
病院にも医療クラーク(医師事務作業補助者候補)として求人増加中(派遣社員ではない)
卒業後の転職もサポート(本校には経験者の求人も有り)

学費は県内トップクラスに安い(さらに修学支援新制度認可校)